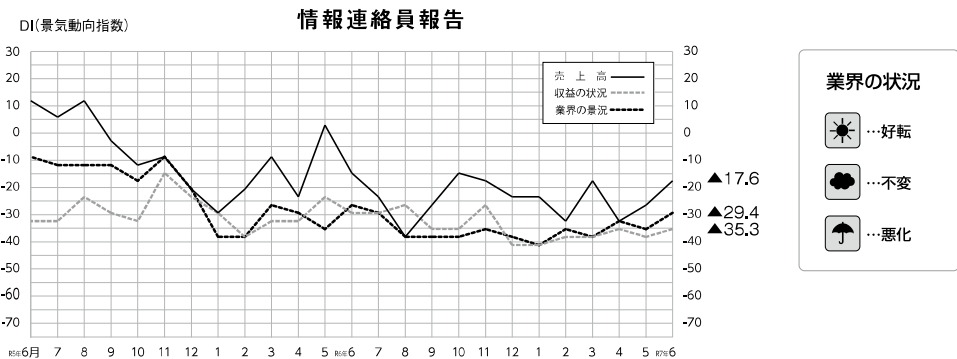




|  |          |                                                                          |
|--|----------|--------------------------------------------------------------------------|
|  | 電気機械器具小売 | 6月度は全商品平均で前年比106.3%。省エネタイプエアコン前年比108%、4K8Kテレビ前年比94%。リフォーム関連は前年比108%であった。 |
|--|----------|--------------------------------------------------------------------------|

|  |           |                                                                                                                                                                    |
|--|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 食品団地      | 6月度商況は県内外共に昨年並み。県内観光関連は微増の様子。夏向け商品の動きは活発ではあるが、全体的に見れば全体市況の増加には至っていないと思われる。                                                                                         |
|  | テントシート    | 原材料の高騰について、販売価格へのスムーズな転嫁が厳しい状況が続くと思われる。このような状況の中、7月より一部の製品の値上げがあり、厳しい状況である。                                                                                        |
|  | 木製品素材生産   | 6月期の出材量は、雨の影響もありやや減少気味となっている。丸太価格については、製材品の動きが少し良くなっているようではあるが、樹種や大きさにより多少の違いはあるものの、全体的には横ばい状況。今後の出材量は、梅雨明けに多少増加すると思われる。また、価格も大きな変動は見込めない。虫害については、先月より多少発生がみられる状況。 |
|  | 建具        | 仕事量が少ない状況が続いている。建具材料の金物・建材の値上げも続いている。                                                                                                                              |
|  | 製紙(家庭紙)   | 紙製品全体の販売金額は前年同月を上回った。一方で、販売量および生産量は前年同月比で微減となった。しかし、トイレットペーパーはこうした状況の中で、販売金額・販売量・生産量のいずれも好調に推移している。                                                                |
|  | 製紙(手すき和紙) | 今日は前年と比較してやや減少した。厳しい状況が続いている。原材料ほか高騰が続く、動きが鈍くなっている。                                                                                                                |
|  | 生コンクリート製造 | 6月度の組合員の単月出荷量は、対前年比78.3%、4月からの累計出荷量も対前年比82.7%で前月に引き続き低調であった。地域的には、中央地区と中部・高橋地区を除いた地区では減少傾向が続いている。                                                                  |
|  | コンクリート製品  | 対前年同月比73.0%。先月に続き昨年度と比較するとかなりの減少となった。6月に大口工事の発注があり、今後は回復すると考えている。                                                                                                  |
|  | 刃物製造      | 前月の出荷が遅れていた品の多くが出荷され、マイナスを補うことができたが、累計は昨年とほぼ同じである。                                                                                                                 |
|  | 機械団地      | 不透明な国際情勢が影響してか、需要は伸び悩んでいる。収益状況はかろうじて横ばいを維持し、人手不足感は一層強くなっている。                                                                                                       |
|  | 船舶製造      | 仕事量は高操業で推移している。                                                                                                                                                    |
|  | 珊瑚装飾品製造   | 6月度の取引額は、前年同月比176%となり、2カ月連続で前年を上回る結果となった。                                                                                                                          |
|  | 生鮮魚介卸売    | 6月の売上高は上昇したが実感がない。仕入金額が上昇しているが販売価格に転嫁できていないからなのか。カツオが例年になく不漁で大変である。先が見えない。                                                                                         |
|  | 中古自動車小売   | 高年式車両・高額車両の問い合わせや注文件数が増えてきているが、先月同様にオークション流通量が減少傾向にあり、相まって相場にも影響し始めている。車種にもよるが、近県での仕入れが難しくればコストの負担も考えなければならず、厳しい状況である。                                             |

|  |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 商店街(高知市)  | 駐車場状況について、利用台数は前年の97.6%(916台減)、料金収入は前年の98.8%(100千円減)。夏の風物詩「土曜夜市」が6月28日からスタートし、例年通り多くの来街者で商店街は賑わいを見せた。本イベントは、7月の毎週土曜日に全5回開催される予定で、今年も地域のにぎわい創出と商店街活性化への大きな期待が寄せられている。6月のクルーズ船の入港は9隻となり前年の1隻から大幅に増加した。入港日には午前中から多くの外国人観光客が商店街を訪れ、にぎわいを見せた。この影響もあり、免税売上は前月に引き続き、月間ベースでコロナ以降最高額を記録した。 |
|  | 商店街(四万十市) | 女性部(市の連合会)が多方面に精力的に活動している。スタンプラリーも再度計画中。各商店街も独自でのイベントは難しいが、女性部のサポートで頑張っている。東下町では稲荷神社改築を祝った。                                                                                                                                                                                       |
|  | 旅行業       | 組合クーポン前年同月対比75%、全旅クーポン合算後117%。組合クーポン売上減少に伴う収益源を、どっぷり高知旅キャンペーン受託事業の実施によって組合員及び組合収益の確保に努めている。                                                                                                                                                                                       |
|  | IT事業      | 今月の売上は前年同月比で48%増となり、過去5年間で最高を記録した。大型案件の受注が主な要因とみられる。当組合では今月が年度末にあたり、通年では厳しい状況が続いたものの、終盤にかけて明るい兆しも見られた。今回の成果を一過性に終わせず、来年度の安定した受注につなげていくことが課題となっている。引き続き、勉強会や座談会などを通じたスキル向上と交流を深め、新規顧客の開拓や需要の掘り起こしにも注力していきたい。                                                                       |
|  | 一般土木建築工事  | 新規入職者は依然として少ない。                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|  | 電気工事      | 組合員の施工する電力引込線工事業量は、前年同月比282%となった。県下全般的に前年を上回った。                                                                                                                                                                                                                                   |
|  | 一般貨物自動車運送 | 組合事業はほぼ昨年並みで、組合員事業者も燃料価格が2カ月連続で値下げとなり一息付けたように感じるが、中東情勢が不安定で不安要素となっている。荷動きも活発とはいえず、ドライバー不足も変わらず事業者の問題となっている。                                                                                                                                                                       |
|  | タクシー      | 6月は新港に大型客船の入港が続く、その際、組合に配車依頼がかなりあるが、配車できる車がなく困っている。運転者がいれば何とかなるが、まだまだ不足しており大変である。                                                                                                                                                                                                 |

|  |            |                                                                                                                                                                                                                         |
|--|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 酒類製造       | 出荷量は減少。原料米問題や価格改定などの問題が山積みである。輸出もやや伸び悩んでいる。                                                                                                                                                                             |
|  | 製材         | 実需が乏しいなか、費用負担は上昇しており、収益面は厳しい。                                                                                                                                                                                           |
|  | 印刷         | 先月に引き続き操業度低下。県内需要は全般に低調、県外需要は一部好調な業種もあるが大部分で落ち込んだ。参議院選関連の特需がありながらの売上減少は大変厳しい状況となった。                                                                                                                                     |
|  | 卸団地        | 全体的なコスト増に対し、販売価格を上げるだけの対策ではカバー出来ない。付加価値を付ける、または質の向上を行うことにより納得の値上げになり、顧客離れを防ぐことになるが、実際は値上げを行うことにより販売数が減少し、結果的に質の低下に陥るケースが多い状況である。仕入価格、ガソリン代等の値上げが続くものの、販売価に十分転嫁できにくい状況が続いている。                                            |
|  | 青果卸売       | 6月の取扱高は組合員全体で前年対比93.9%となった。野菜は特に果菜類の入荷が少なかった。果物は全体的に入荷が少なく売上が伸びなかった。今年の1月から6月までの累計でも96.7%となり、厳しい状況が続いている。                                                                                                               |
|  | 各種小売(四万十町) | 物価高騰が続く、地域の小売商店にとっても依然厳しい状況が続いている。当会のポイント発行事業は、発行ポイント・利用率ともに横ばいで、春先の卒入学シーズンに比べると動きが少ない時期に入っている。一定の常連顧客による購買活動は持続しているが、新規顧客の増加は厳しい状況である。地域内消費を促すため、当会のポイント事業で毎年お盆の時期にポイント5倍セールを実施しており、本年もその準備を進めている。                     |
|  | ガソリンスタンド   | 6月の新補助額は10円となり政府の補助金限度額に達しているが世界情勢により再び補助金が出るようになっており、26日現在で3.4円の追加で合計13.4円の補助となった。ガソリン仕切り価格は3週にわたり上昇し、全国の市況は上昇しているが高知県の市況は下がったままとなっている。停戦合意により原油価格の下落予想もあるが、やはり先行きは見えない。全国平均が175円を超すことがあれば再び補助が出るので以前のような高値市況はないと思われる。 |
|  | 商店街(安芸市)   | 例年、この時期に開催していた「軽トラマルシェ」については、ナスの集荷が見込めず、今回は中止となった。                                                                                                                                                                      |
|  | 旅館・ホテル     | 6月宿泊者数は前年に比べてやや弱い。繁忙期の夏休み期間に向けての予約入れ込みも鈍く、「あんばん」効果は今だ表立っていない。                                                                                                                                                           |
|  | 飲食店        | 高知市中心部でも集客は前年度をやや下回り、県の東西部では更に悪い。全体としてはコロナ禍以前との売上比較で約8割～9割。物価高により県内消費者の購買意欲が相当下がっており、集客が覚束ない。前年度同月に比べ更に物価は高騰。光熱費・仕入れ価格・人件費など、ありとあらゆるものが上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の悪化から業界の価格転嫁は十分ではない。                                         |
|  | クリーニング     | 物価高による節約志向が進み、需要の減少傾向は続いている。重油、灯油などのエネルギー高、原材料高は依然続いており、価格改定の環境には程遠い。記録的猛暑も予想される中、暑さ対策や働き方改革による労働時間減少にも対応しなければならぬ。一方、リネン業界は好調が続いている。                                                                                    |